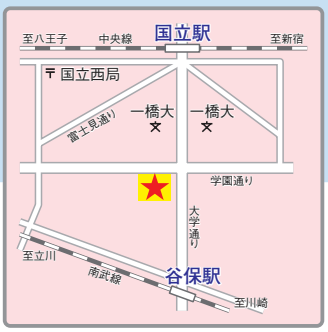
桐朋（とうほう） 中学校

所在地／〒186-0004　国立市中3-1-10
ＴＥＬ／042-577-2171
学校長／原口 大助
創　立／山水育英会を母体に1941年、第一山水中学校として発足。1947年に桐朋学園を組織し、中学・高等学校として現在に至る。
ＵＲＬ／www.toho.ed.jp

	1年	2年	3年
男子	258名	273名	256名
女子	—	—	—
クラス数	6組	6組	6組

中高総生徒数／1736名　併設小から 約26%



〈交通アクセス〉
JR中央線「国立」駅、JR南武線「谷保」駅より徒歩各15分

自主性を尊重する自由な校風の下、学ぶ楽しさを伝える教育を

武蔵野の面影をとどめる文教地区に位置する、多摩の難関校です。生徒は入学時から自立した「紳士」として扱われ、校則らしい校則もほとんどなく、自由と個性を重んじる校風が特色です。教育目標は「自主的態度を養うこと」「他人を敬愛すること」「勤労を愛好すること」。行事の多くは生徒が企画・運営し、委員会活動や部活動も盛んです。創立75周年を期して新校舎を建築し、各種実験室、天文ドーム、プラネタリウムなど、本物に触れる専門施設が充実しました。

スクールライフ

●教育内容

基礎学力の養成に重点を置き、各学年で中身の濃い授業を行っています。特に主要5教科には力を入れ、補助教材を活用するなど、学ぶ楽しさのわかる指導が特色です。各教科とも、1つの課題や問題を多角的に深く考える時間を多く設定することにより、基礎学力の定着を図っています。また、専門性の高い教員が学問的な体系を大切にしながら授業を行い、教科書を超えた発展的な内容を系統的に学習するため、英語・数学・国語を中心とする追試や補習、長期休暇には英語・数学の補習が行われています。英会話や作曲、天文学など、学ぶ楽しさを知る特別講座も用意されています。

■主要5教科の週当たり時間（コマ）数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	5	5	5	4	4
2年	5	5	5	4	4
3年	6	6	5	5	4
合計	16	16	15	13	12

◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限
◎登校時間：8時30分

●部活動

中高で16の文化部、19の運動部、7つの同好会が活動。長い伝統を誇る体操部をはじめ、全国レベルの実力を持つ陸上競技部、将棋部（囲碁班）、卓球部など、活発に活動しています。
○文化系／生物、地学、化学、将棋、ESS、社会、美術、文芸、音楽、コーラス、交通研究、コンピュータなど
○体育系／体操、バレーボール、陸上、テニス、バスケットボール、野球、サッカー、剣道、ゴルフ、空手、ラグビー、サイクリング、バドミントン、卓球など

●行事

桐朋祭（文化祭）や運動会など、総合的学習の一環として多彩な行事が行われ、生徒が主体となって運営しているのが特徴です。

●修学旅行・研修旅行

中1・2では、10月に「クラスの日」というクラスごとの1泊行事があり、行き先や内容はクラスの委員を中心に意見をまとめ、計画します。林間学校は中1で裏磐梯、中2は尾瀬を訪れ、中3の修学旅行では青森・秋田・岩手を巡ります。高1の夏期行事は信濃大町での民泊を中心に行います。高2の修学旅行は、前半の2泊はクラス別に各地を訪れ、後半の2泊は京都に集まってコース別の探求になります。特に高校の修学旅行は、委員の生徒が旅行業者と面談を重ねて作り上げます。

マネーガイド

■2023年度納付金（諸経費を含む）

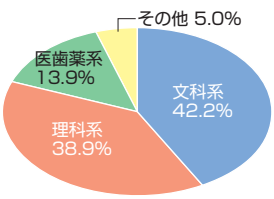
	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	270,000円	0円	130,000円	0円	400,000円
初年度総額	270,000円	494,400円	250,000円	98,300円	1,112,700円

◎学債：1口10万円（任意）、卒業時返還
◎授業料：月納
◎奨学金・特待生制度：経済的理由により就学困難な者に奨学金を給付。特待生制度はなし

進学指導の概要

内進生と高入生は高1から混合クラスです。カリキュラムは、中等教育に必要な教養の形成を図るとともに、個々の志望や適性が生かせるよう、必修科目と選択科目がバランス良く配置されています。高2での理･社の選択のため、文系・理系の進路決定は高1の冬休みに行います。高2から高3に進むにつれ、次第に大学入試演習の多い授業に移行していきます。高3では必修授業を12時間に抑え、選択授業を21時間設定。英語・数学では3年間、選択制段階別授業が行われ、全学年で3段階にクラス分けがなされます。受験指導だけでなく、将来の職業選択につながる進路指導にも力を入れています。

■浪人を含む大学進学者の進路の内訳



■併設高校から主要大学への合格実績

※上段は現役合格者数、下段は浪人を含めた合格者数。

	北海道大	東北大	東京大 文科Ⅰ類	東京大 文科Ⅱ類	東京大 文科Ⅲ類	東京大 理科Ⅰ類	東京大 理科Ⅱ類	東京大 理科Ⅲ類	東京大 合計	京都大	一橋大	東京工業大	東京芸術大	東京医科歯科大	東京外国語大	東京農工大	千葉大	筑波大
21年	6	3	3	—	1	2	1	—	7	3	4	6	—	1	2	4	2	2
	9	11	3	—	1	3	2	—	9	4	8	10	—	1	3	10	6	4
22年	8	5	—	1	—	5	—	—	6	3	9	3	—	1	1	8	1	1
	13	11	—	3	1	5	2	—	11	6	14	6	2	1	2	12	3	2
23年	5	3	3	1	1	2	—	—	7	2	7	3	1	1	1	4	1	7
	12	6	4	1	1	3	—	—	9	4	8	5	2	2	1	8	1	8

	横浜国立大	東京都立大	横浜市立大	早稲田大	慶應義塾大	上智大	東京理科大	国際基督教大	学習院大	明治大	青山学院大	立教大	中央大	法政大	文部科学省管轄外の大学校	海外の大学	国公立・医学部	私立・医学部
21年	—	4	2	46	37	13	40	1	2	40	11	10	27	29	1	—	6	15
	1	6	3	68	74	21	96	1	5	104	32	30	82	61	5	—	15	32
22年	9	3	—	55	42	28	43	—	5	71	29	12	60	26	3	—	11	13
	13	6	—	101	73	35	86	—	18	126	47	40	88	70	4	—	16	66
23年	3	2	—	52	43	30	45	2	8	73	34	26	47	32	6	2	5	16
	10	3	1	76	60	42	71	2	10	116	50	33	80	55	8	2	11	65

★指定校推薦枠（2023年度）早稲田大6名、慶應義塾大4名、上智大1名、学習院大4名、中央大4名、北里大（医）2名、東京薬科大4名、東京理科大3名など

入試情報

■過去3年間の入試結果

		募集人員	応募者	受験者	合格者	実質倍率
21年	1回	約120	412	367	148	2.5
	2回	約60	646	458	247	1.9
22年	1回	約120	317	299	150	2.0
	2回	約60	512	394	231	1.7
23年	1回	約120	380	353	144	2.5
	2回	約60	597	460	216	2.1

■2023年度入試 受験者・合格者の教科別平均点

		算数	国語	理科	社会	合計
1回	受験者	56.4	51.2	33.9	39.9	181.4
	合格者	68.3	57.6	38.8	44.3	209.0
2回	受験者	69.6	61.9	41.7	36.4	209.6
	合格者	78.6	67.3	46.6	41.5	234.0

○配点：算国＝各100点　理社＝各60点
○合格最低点：1回 193点　2回 216点

23年の募集要項

※以下は2023年の募集要項です。2024年の要項は学校の発表をお待ちください。

入 試 日／①2月1日 ②2月2日
募集人員／男子約180名(①約120名 ②約60名)
合格発表／①ホームページは即日、掲示は翌日 ②2月3日
手続締切／①②2月4日
試験科目／国語(50分・100点)、算数(50分・100点)、理科(30分・60点)、社会(30分・60点)
面　　接／なし
受 験 料／25,000円(①②同時出願38,000円)

公開行事・説明会予定

【学校説明会】要予約
6月10日(土)、 6月24日(土)
9月16日(土)、 9月30日(土)
11月25日(土)
【運動会】
10月 1日(日) 9時～15時
【自由研究展示会】
11月20日(月)～11月24日(金)13時30分～16時30分
◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOBの声

●中1・2では「クラスの日」という1泊2日の宿泊行事があります。「クラスの日」委員が中心となって行き先や内容を決め、旅行代理店の方と打ち合わせをしながらプランを練っていきます。ぼくたちは草津温泉に行き、テニスやボウリングなどを楽しみました。
●緑豊かで広々とした環境や、友だちとお弁当を囲む広い食堂、いろんな商品がそろった購買部、プラネタリウムやグラウンドといった充実した施設がとても気に入っています。国立駅から学校までの通学路の雰囲気も良く、友だちと話をしながら楽しく登下校していると、ついつい帰宅が遅くなることもあります（笑）。
●校内には、武蔵野の雑木林をそのまま残した「みや林」があり、夏にはクワガタやカブトムシが見られるなど、自然豊かな環境が自慢です。